市民自治こがねい広場
散歩だより No.90
2015.6.7 発行

☆市民自治こがねいは「こがねいピースアクション2015」に賛同しています！

編集･発行　市民自治こがねい　〒184-0012　小金井市中町3-10-10-103　Tel/Fax. 042-316-1511

「2015統一自治体選挙」明日のための見聞録

４月１２日と２６日投票で、全国の９８４の自治体議員と首長の選挙が行われました。自治体合併などで統一率はだいぶ下がったとはいえ、全ての選挙の４分の１以上です。

立候補者の減少＝無投票選挙の増加、投票率の低下、女性議員の当選率は微増にとどまるなど、今後にむけて考えなければならない課題が山盛りです。

小金井では市議選はだいぶ前から２年ずれていましたが、市長選も４年前の佐藤市長辞職で１２月となり、加えて都知事の辞職もありましたので、今回から統一選で小金井市民が投票する選挙はなくなりました。

そんなわけで、市民自治こがねいの面々は各地の選挙のサポートや応援に取り組むことに…。結果はそれぞれ、分析もそれぞれですが、応援レポート・感想などをまとめてみました。

『応援行脚は発見の旅』

片山かおる（市議会議員）

小金井の市議選はもとより、都知事選も市長選も統一自治体選挙からずれてしまったため、今回はなんと16人の市民派の候補者応援に行くこととなった。さらに事前には様々な地域から相談があり、陣内さんや漢人さんと共に対応。小金井は選挙総研と化した。

私の応援の旅は神奈川県議選から始まり、三鷹･八王子･小平･清瀬･国分寺･武蔵野･茅ヶ崎･江東･港･杉並･中野･練馬。

多摩地域と区部の選挙はだいぶ様相が違う。多摩地域はなんとなくのどかな雰囲気。区部は少し世知辛い。私が応援した候補者のうち3人は落選したが13人は当選。

それにしても普段から地に足の付いた活動を重ねている女性議員は強い。演説を聞いていても、地域の問題を捉え、どう市民とともに変えていくか、という訴えの説得力が違う。言葉の力を実感した。

ネット解禁等、選挙のやり方はどんどん変化していくだろう。しかし、大きな組織がない市民派の候補者は、その人自身の本質が問われ、地域での活動が評価を受けるという形は、これからもあまり変らないように思う。

こんなに様々、選挙スタイル

関わりの濃淡はあるものの、今回の選挙応援に行ったところは１０ヵ所でした。

成田市では、選挙期間中にも関わらず名前のぼりを立てるのがフツウになっていて、選管にその事を伝えても変わらず、憤りを感じました。他にも個別訪問している人がいたり、チラシをポスティングしている人がいたり…。自治体によってこんなにも違うものかと驚きます。

結果はあけてみないとわからないものの、候補者となる方が普段から地域で活動をしてきて、縁をつなぎ、地域の人で選対がつくれている方は結果もついてきていることが多かったように思います。

なにはともあれ、政治の動きには心折られてばかりの今日、それでもあきらめずに、これだけ多くの仲間たちがそれぞれ地域で声を挙げてくれたことに一筋の光をみました。（坂井えつこ）

いいなあ、このゆとり感

３期目の市議選を戦う野村羊子さんの応援に三鷹市へ。数時間だけのウグイス。

野村さんの応援団は私たち世代より少し上の世代で落ち着いてる雰囲気。事務所も小さいのにこざっぱり。車の運転者もフンフンと鼻歌でも出てきそう。「ソーラーパネル乗っけて街宣車の灯りはそれで賄ってるの。宣伝しちゃって～～。」なんて余裕。いいなあ、このゆとり感。本人たちはそんなことないのかもしれないけど、少なくとも外部の者が来てそんな風に感じるっていうのは大事なことかもしれない。

選挙戦を戦い抜く毎日の食事は「ひつじ食堂」で。とっても美味しくて身体に沁みた。私たちが次にやるなら、と、そういう目でいろいろ吸収できる数時間でした。（やまうちみほ）

あっちこっち応援にいきました！

自転車隊がゆく！

三鷹の野村羊子さんの応援では選挙カーの運転手として、小平の橋本久雄さんの応援では候補者を先頭に自転車隊の一員として各市内を走りました。

車と自転車の違いはありますが、候補者本人が臨機応変にルートを決めて、細かいスポット演説をたくさんこなしていく。目の前に人がいなくても、聞いているであろう住宅地、団地、マンションの住人へ向けて市政の改善点・政策を訴える。

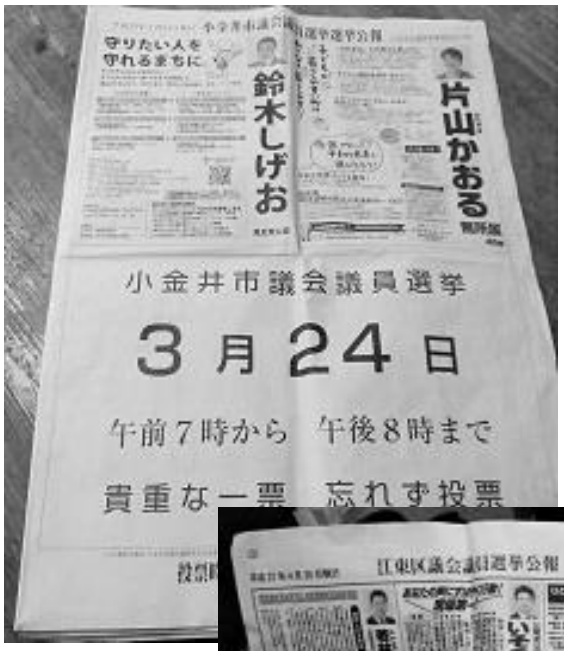
二人とも現職で何度も選挙を経験しているからだろうか、選挙事務局や参謀が仕切り、候補者はその指示に従うスタイルとは異なった、こじんまりではあるが地に足が付いた選挙運動が印象的だった。

（水由 章）

4年後にむけてガンバロウ！

緑の党ができて初めての統一選。公認・推薦・支持した候補者の応援の調整をしつつ、選挙期間には川崎、八王子、昭島、清瀬、小平、三鷹、杉並、中野、板橋、豊島、荒川、江東、大田へ応援とエール交換に。

準備段階からサポートしたお隣り小平市の村松さんの次々点は悔しい！貴重な若い女性議員なのに…。私も最下位ギリギリだった「２期目の危なさ」へ危機感が足りなかった、などなど大反省。今回、なんだかんだと係りのあった 20～30 代中心の 12 人の新人候補者のうち、当選できたのは６人。厳しいなぁ…。でも、若い世代を中心に新しい政治への参加層は着実に広がったようだ。みんな、それれの次に向けてがんばってほしい。（漢人明子）



２０１３年
小金井市議会議員選挙公報

選挙公報ってこんなに違うの？！

小金井の選挙公報は全国一大きい＆選挙公報がない自治体が４割も！

　他の自治体に応援に行くと、選挙のやり方が違うのはもちろん、えっ？と驚くことがあります。

　小金井市の選挙公報は1人あたりが紙面の4分の1、これは全国一の大きさです。2008 年に議会が陳情書を採択したことを受けて、2013 年から変更したものです。江東区のように15分の1の小さなサイズのところもあります。さらに全国では、そもそも選挙公報を発行していない自治体が4割近くもあるのです（2015 年1月緑の党全国自治体調査）。

　投票する候補者を選ぶために選挙公報は必須だし、ある程度の大きさも必要ではないでしょうか。

２０１５年江東区議会議員選挙公報

公民館本館がなくなるって？！

現在、耐震性に不安がある福祉会館をどうするのか、市議会でも大きな課題になっています。そんな中、市民からは公民館本館の行き先を心配する要望書が提出されました。（散歩だより編集部）

　老朽化と耐震性の問題で福祉会館の建替えが急がれているが、諸々の問題で宙に浮いているらしい。いったい何が問題なのかと友人たちにも聞かれるのだが公の説明以外にも諸説あって複雑そうだ。さらに公民館本館がその建て替え計画に全く入っていないことを先日知った。

　３月末、公民館本館の利用者懇談会があり、少数の参加者の前で行われた本館についての説明は当初の予定になかったらしく、質問があったのでしぶしぶ答えるという様子だった。今建っている場所は借地で新しく建てると現在の７割しか使えず、現地で建替えは難しい。本館は間借りの立場であるため、真っ先に外されることになったとのこと。 福祉会館の建替え問題に本館の問題が隠れて議論の場所がどこにもない現状。本館を失った公民館が、市民の社会教育の場と言えるだろうか。子育て支援団体から、説明会を求める要望書を提出したがまだ返答が来ない。

　今の本館は実に多様な世代が利用しているが、それらが行き場を無くし、今後の市民活動が危うくなってくる。あえてそれを狙っているのではないかとうがった見方をしてしまうほどだ。（前原町／AT）

5／16キックオフ集会
“こがねいピースアクション2015” 始動！

市民自治こがねいは「こがねいピースアクション2015」に賛同しています。

戦争する国づくりのための新たな「安保法制」制定に向け、安倍内閣は５月１４日の閣議決定、１５日に国会への法案提出を行いました。そんな緊迫した状況の中、5月１６日(土)“こがねいピースアクション２０１５”のキックオフ集会が開催されました。小雨の中でしたが、開会時にはほぼ満席、約１００名、追加の椅子を用意するほどでした。

“こがねいピースアクション２０１５”は、平和を脅かす危険な「安保法制」に対し、小金井から「異議あり！」の声と行動をしていくため、多様な活動を共同で繰り広げていくネットワークとして発足しました。ぜひ、みなさんも参加ください。後から振り返り、「なぜ自分はあの時声をあげようとしなかったのか」と悔やまないために。

「ありがとう、小堀さん、工藤さん」

今年は年明けから辛い知らせが相次いだ。

「風びゅんびゅん」の小堀鈴子さんが亡くなった。そして、武蔵野はらっぱ祭りの竹ドームを作っていた工藤定義さんも。市民自治こがねいができたときから、とてもお世話になったふたり。

５/２～７、ギャラリーブロッケンで『工藤定義の世界～多面体類展』が開催された。連日のライブやパフォーマンスもあり、３００人以上の人たちが訪れた。

彼が遺した多面体類は、２トントラックにいっぱいになるほど。カエルハウスにもたくさん飾ってある。

選挙の時も、はらっぱ祭りの会議でも、いつも工藤さんが居て、その場を和らげてくれた。風びゅんびゅんが無いと、ひとりで憂さを晴らしに飲みに行く場が無い。

工藤さんと小堀さんの不在で、小金井がだいぶ変ってしまった。（片山かおる）

編集後記　コツコツと長い地道な日常と準備期間を経たお祭りのような数日間。コツコツ具合が大事だけど、それだけじゃない。やることは単純だけど難しい。う～ん。ともあれ、それぞれの結果を受けて、次の日常が始まっているのです。（明子）

イベントのお知らせ

●「今、沖縄はどうなってる？
～こがねい市民の辺野古報告」
6/26（金）19:30 @市民交流スペースカエルハウス
（小金井市中町 3-10-10-103　農工大通り沿い）
話者：野川未央（特定非営利活動法人 APLA スタッフ／小金井在住）
「沖縄の問題」ではなく、東京・小金井に暮らす「自分たちの問題」として一緒に考えてみませんか？
参加費：500 円
主催：市民自治こがねい　TEL 042-316-1511

●「小さき声のカノン」上映会
7/17（金）10:00（鎌仲ひとみ監督のトークあり）、14:00、19:00 @市民交流センター小ホール
原発事故から４年、放射能から子どもたちを守ろうとする親たちの姿を描く。
主催：小金井市放射能測定器運営連絡協議会

●「みんなの学校」小金井上映
9/4（金）@市民交流センター小ホール
障がいのある子も、厳しい家庭状況の子も、みんな同じ場を共有できる、大阪の公立学校。映画上映を通して、地域がどう変っていくか。連続学習会や学校での上映、しゃべり場カフェなども企画中。
『みんなの学校』小金井上映フェイスブックページで情報発信します。

「市民自治こがねい」は
わたしたち市民の力で小金井市を変えたい！
市民の想いや考えを
福祉やまちづくりに生かしたい！
人権が尊重され、自治が息づく
小金井市にしたい！

そんな考えの市民が集まり
片山かおるさんを市議会に送り出し
小金井のさまざまな問題を話し合っています。

どなたでも気軽にご参加ください。

※詳しくはホームページをご覧ください。
http://www.sijiko.com/

★会員になってください★
会費　１口=3000 円／年（できれば２口以上）
・賛助会費　１口=１万円／年
・ニュースカンパ　１口=1000 円／年
・郵便振替　00130-6-352041

＜古紙１００%、大豆インク使用＞